

国際医療福祉大学 薬学部
薬学部長 三浦 裕也

国際医療福祉大学薬学部では、三つの方針（特にディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシー）に基づき、学修者本位の教育の実現を図るための教育改善に取り組みつつ、社会に対する説明責任を果たしていく学部運営、すなわち教学マネジメントを確立するため、学部全体の学修成果・教育成果および教学に係る取組状況等を把握し、教育水準の向上および教育の改善を図っていきたく考えています。

これにあたり、教学マネジメント指針（令和2年1月22日 中央教育審議会大学分科会）に基づき、以下を実施したく考えています。

- I. 下記に示す種々のレベルで得られる情報を収集し、学部 FD/SD を通じた教職員の能力の向上や教育改善活動、教学に関わるインスティテューショナル・リサーチの進展に努めていきます。
- II. 収集した情報を学生や学費負担者、入学希望者等の関係者に加え、教育研究活動としても幅広く社会に対して情報を公表し、薬学教育の質の向上に努めていきます。

【学位プログラムレベル】

- (1) 大学の教育活動に伴う基本的な情報であって全ての大学において収集可能と考えられる情報

例：・各授業科目における到達目標の達成状況

- ・学位の取得状況
- ・進路の決定状況等の卒業後の状況（進学率や就職率等）
- ・修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年率、中途退学率

- (2) 教学マネジメントを確立する上で各大学の判断の下で収集することが想定される情報

例：・「卒業認定・学位授与の方針」に定められた特定の資質・能力の修得状況を直接的に評価することができる授業科目における到達目標の到達度状況およびコンピテンシーに基づく到達度評価

- ・プレイスメントテスト、模擬試験および語学力検定等の学外試験の結果
- ・資格取得等の状況
- ・卒業生に対する評価および卒業生からの評価

【授業科目レベル】

個々の授業科目の到達目標を、学生がどの程度の水準で達成できているかを明らかにし、学修成果・教育成果の把握・可視化に必要な情報

例：・成績評価結果等、およびその分布

- ・授業アンケートの結果等
- ・授業への出席状況等

なお、情報の取り扱いについて、以下の点を厳守します。

- (1) 個人情報が含まれていないこと
- (2) 調査対象者にとって不利益が生じないこと
- (3) 個人情報の保護に関する法令及び本学の規定に従って、適切に実施していること
- (4) 公表に値する社会的、学問的意義があること

本内容に関する問い合わせについては、薬学部 加藤 芳徳に相談してください。